

志賀原子力発電所
ハフニウムフラットチューブ型制御棒に関する
調査結果（中間報告）について

平成22年11月9日
北陸電力株式会社

当社は、原子力安全・保安院からの指示文書¹に基づき、志賀原子力発電所のハフニウムフラットチューブ型制御棒に関する調査結果（中間報告）を、本日（11月9日）、同院に報告しましたので、お知らせいたします。

東京電力株式会社 柏崎刈羽原子力発電所7号機において、使用済のハフニウムフラットチューブ型制御棒にひびが認められたことから、11月1日、原子力安全・保安院から沸騰水型原子力発電所を所有する事業者に対し、「同型制御棒の使用実績等の調査、技術基準適合性を含む安全性の評価、動作確認の実施およびひびの有無の確認」の指示文書が発出されました。

当社は、この指示に基づき、志賀原子力発電所における同型制御棒の使用実績等の調査結果、および動作確認により異常のないことを確認した旨を、本日、中間報告として同院に報告しました。（添付資料参照）

なお、現在同型制御棒を使用している志賀2号機においては、引き続き技術基準適合性を含む安全性を評価するとともに、次回定期検査時に同型制御棒のひびの有無について確認します。また、今後も定期的（1回/月）に同型制御棒の動作確認を実施します。

志賀1号機においては、現在同型制御棒を使用していませんが、今後、過去に使用し使用済燃料プールに保管している同型制御棒のひびの有無について確認します。

本件については、石川県および志賀町にもお知らせしています。

以上

添付資料：志賀原子力発電所ハフニウムフラットチューブ型制御棒に関する調査結果
（中間報告）

1 原子力安全・保安院からの指示文書
制御棒のひびに関する対応について（指示）（22原企課第110号）

志賀原子力発電所
ハフニウムフラットチューブ（HfFT）型制御棒に関する調査結果
（中間報告）

1 . 調査・点検期間

平成 22 年 11 月 1 日～5 日 （今回報告分）

2 . 調査・点検内容

以下の内容について、調査・点検を実施する。

No.	指示内容	実施時期
1	HfFT 型制御棒の使用の有無，現在使用している場合にはその本数及び炉内配置状況並びに中性子照射量（現在及び次回定期検査まで使用時）を確認。	今回実施
2 -1	現在運転中の原子炉において HfFT 型制御棒を使用している場合には，構造強度に係る健全性評価及び制御棒の挿入性等の技術基準適合性を含む安全性を評価。	評価中
2 -2	至近の定期事業者検査までの間，運転中における当該制御棒の動作確認実施。	今回，初回動作確認を実施(今後も 1 回/月実施)
2 -3	至近の定期事業者検査において当該制御棒のひびの有無について確認。ひびが確認された場合には以下の対応を実施 ひびの状況及び発生原因の調査 製造及び中性子照射量等を含む運転の履歴の調査 構造強度に係る健全性評価及び制御棒の挿入性等の技術基準適合性を含む安全性の評価	2 号第 3 回定検 (H23.3～)
3	現在停止中の原子炉に装荷又は使用済みとして保管している HfFT 型制御棒がある場合には，ひびの有無について確認。ひびが確認された場合には 2 -3 の ～ の対応実施。	準備が整い次第実施

3 . 調査・点検結果

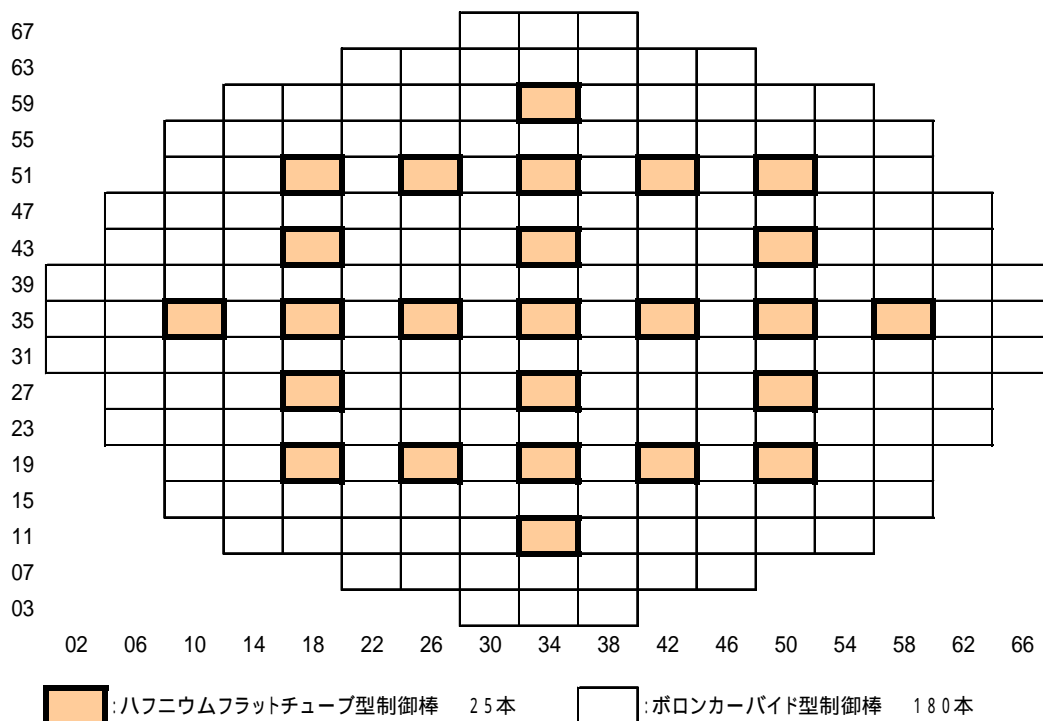
No. 1 HfFT 型制御棒の使用の有無等について

(1) HfFT 型制御棒の使用の有無及び本数

号機	使用中（原子炉内）	使用済燃料貯蔵プール
1	0 本 [89本]	4 本
2	25本 [205本]	0 本

注)「使用中（原子炉内）」欄のうち，[]内は炉内の制御棒総数。

(2) 志賀 2 号機における HfFT 型制御棒の炉内配置状況及び中性子照射量



2号機のHfFT型制御棒の中性子照射量は、現在2～3 snvt。サイクル末期では、3～4 snvt となる見通し。

注：snvtは、中性子照射量の単位であり、1平方センチメートルあたりに照射された中性子の累積個数を示す。1 snvt = 1×10^{21} 個/cm²

No. 2-2 HfFT 型制御棒の動作確認結果及び計画

志賀 2 号機の HfFT 型制御棒 25 本の動作確認を実施し、正常に動作したことを確認した。

今後も定期的（1回/月）に HfFT 型制御棒の動作確認を実施する。

（平成 22 年 11 月 5 日 お知らせ済み）

以 上